



発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

東参道のしだれ桜

宮司 田村 泰教

冬を越えた鳥たちは北へと舞戻り、人生の節目を迎えた若人たちは新たな旅立ちに。草木は力強く芽を吹き、田畑を耕す農機具のエンジン音が木霊する。生命の躍動を感じる春、特に北国に住む者にとっては、待ちに待った季節。▽しかし今春は、コロナ禍が続く中で、侵攻による生々しい惨状が映し出され、隣国からは物騒なミサイル発射の報が届いている。世界が新型コロナウイルスに苦しみながらも、何とか耐え忍んでいる中での暴挙。人間の愚かさをもたらす悲惨な状況に、沈痛な思いを抱く日々が続いている。▽しかし、紛争は決して他人事ではなく、嘆いてばかりもいられない。世界の指導者達の英知と行動力、そして何よりその良心に望みを託しながら、ほんの僅かでも何かの力になれたらと思う。▽『よもの海みなはらからと思ふ世になど波風のたちさわぐらむ』(明治天皇御製) 通常の暮らしが早く戻り、自由に往来ができる穏やかな世の中となるように。世界に共通する祈りを、今後も真摯に続けていきたい。

(三月三十一日記)

言挙げ 77

春に想う

権欄宜 内海磨 弥



今年  
は例年  
以上の  
雪が降  
り、除雪

作業の大変さを痛感したお正月でしたが、ここ最近は何かに気温も上がり、日差しのおかげで春の訪れを感じながら日々を過ごしています。

秋田の春はとてもゆるやかだと思えます。先日桜の開花予想を拝見した際、東京ではすでに桜が開花していてとても驚きました。そういえばと遠い記憶を思い起こせば卒業シーズンに桜が咲き、入学、進学する頃には桜は散り始めていたような気がします。新

年度の慌ただしい時期と重なる形になってしまい、ゆつくりと桜を鑑賞することもあまりなかったように思います。

しかしながら秋田にいればわずかな変化でも気がつくようになりまし。境内の桜は蕾をつけはじめ、ほのかに色付いてきています。ほかの草花も雪がとけ、土が見えはじめてから、しばらくすれば芽を出してきました。あの氷点下の厳しい冬をよく乗り越えたものだと感慨深く眺めております。

太平山の



境内のふきのとう

山頂が境内から見える日も多くなりました。山開きの時期にむけて準備を進めていかなければ、と太平山の山容がはつきりと見えるたびに思うのですが、新型コロナウイルスの動向もわからないなかでどのような山開きになるのか予想は難しいと、勝手ながら考えております。昨年より登山者が増えればいいと思っはいます。が、同時にリスクを抱えることになりまし。遭難、滑落などの大きな事故がないとも限りません。そのような場面に遭遇したとき、どのように対応すればいいのか今のうちから考えておかねばならな

いと感じています。

同じ事は他の場面でもいえます。今年度から4年目になります。何か問題が起こったときに、一人でスムーズに対応できるのか。本来であれば出来なければなら

すが、いざその時になれば慌てる自分の姿が思い浮かびます。自分がどのように動くのが最善なのかを日々考え、自分と向き合いつつ真摯に奉仕していければと考えております。

まだまだ「一人前」とはほど遠い未熟な身ではありますが、自分なりにさまざまな経験を積みながら頑張っていきたいと思ひます。で、今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げます。



昨年11月の太平山

人事

奉職 権欄宜 長田 祖治

(東京 明治神宮より転任)

退職 権欄宜 小池 主真

(郷里 由利本荘市金峰神社へ)



## 秋田東警察署より

## 感謝状を拝受

一月六日、

秋田東警察署  
に当社の特殊  
神事三吉梵天  
祭で奉納され  
る梵天(幣束)  
二本を貸与  
し、地域の防



犯や各種活動にお役立て頂  
ていることに対して、伊藤主  
税署長様より、宮司と古屋義  
和責任役員が感謝状と記念品  
を頂戴いたしました。

同署には、初詣・梵天祭等々  
の運営にご尽力を頂いており、  
当日は、年男年女の署員の皆  
さまも参列し、一年の安全を



祈念されま  
した。

当社も引  
続き地域の  
一員として、  
安心安全の  
確保に努め  
て参りたい  
と存じます。

## 拝殿前に

## 電子神社案内板設置

当県では  
初、東北で  
も四例目と  
なる電子神  
社案内版(神  
社ナビタ)  
が拝殿前に  
設置され、



十一月二十九日、ご協賛各社  
様ご参列のもと清祓式が行  
われました。

掲示板はタッチ式で、参拝  
方法や神道等の説明が日本  
語・英語で表記されるほか、  
当社のご由緒や授与品など  
も詳しくご覧頂けます。(日  
本語のみ)

表示灯株式会社様より筐  
体をご奉納頂き、同社様の企



画運営によ  
り、広告ご  
協賛を頂い  
て今後運営  
されます。  
どうぞお  
気軽にご利用  
下さいませ。

## みよしスケッチ

## 初詣

例年の七割ほどの参拝客  
となりました。



## 煤払式

(十月十三日)

新年を控え、斎竹で社殿  
境内を祓い清めました。



## 師走大祓

(大晦日)



## 令和4年三吉梵天祭ご報告

当社の特殊神事である梵天祭は、1月16日（日）に子どもさんによる梵天奉納を行い、翌17日（月）午前6時より神事を斎行、その後大人の方々の奉納を頂きました。（合計45団体 50名）

本年もコロナ禍が続く状況を踏まえ、各種感染対策を施した上で、奉納団体の皆さまのご協力により、厳粛裡に無事終えることができました。

力の神・勝負の神にあやかろうと、威勢良く先陣争いを行うのが当祭の特徴ですが、残念ながら2年続けて静かなご奉納となりました。

参加者の皆さまの「コロナ禍収束」への祈りが届き、来年こそは勇壮に熱いお祭が繰り上げられることを切に願っております。

### 奉納団体ご芳名（順不同・敬称略） 真心こもるご奉納に重ねて御礼申し上げます。

- ・(株) 秋 田 銀 行
- ・(株) T T K 秋 田 支 店
- ・(社) 秋 田 育 明 会
- ・広 面 地 区 体 育 協 会
- ・広 面 商 工 振 興 会
- ・赤 沼 町 内 会
- ・田 中 梵 天 保 存 会
- ・広 面 町 内 会
- ・櫻 有 志 会
- ・泉 梵 天 奉 納 会
- ・蛇 野・西 町・大 沢 町 内 会
- ・蛇 野 町 内 会
- ・N T T 東 日 本 秋 田 グ ル ー プ
- ・東 日 本 旅 客 鉄 道 (株) 秋 田 保 線 技 術 セ ン タ ー
- ・株 式 会 社 石 川 建 設
- ・東 部 瓦 斯 (株) 秋 田 支 社
- ・(社) 新 成 会 老 人 保 健 施 設 友 愛 の 郷
- ・特 別 老 人 ホ ー ム 新 成 園
- ・社 会 福 祉 法 人 こ ぼ と 保 育 園
- ・ボー イ ス カ ウ ト 秋 田 第 33 団
- ・梶 ノ 目 町 内 会
- ・赤 沼 子 供 会
- ・柳 田 子 供 会
- ・谷 内 佐 渡 若 葉 子 供 会
- ・神 武 館 三 吉 道 場
- ・あ さ ひ か わ こ ど も 園
- ・蛇 野 若 竹 子 供 会
- ・(有) 斎 藤 昭 一 商 店
- ・ひ ろ お も て エ コ ク ラ ブ
- ・大 巻 子 供 会
- ・レ ス リ ン グ 北 志 館 道 場
- ・(株) 北 都 銀 行
- ・ユ ア テ ッ ク グ ル ー プ
- ・(株) ユ ア テ ッ ク 秋 田 支 社
- ・東 日 本 旅 客 鉄 道 (株) 秋 田 支 社 秋 田 駅
- ・秋 田 市 立 広 面 小 学 校 3 年 部
- ・柳 田 町 内 会
- ・谷 内 佐 渡 町 内 会
- ・原 田 利 正 会
- ・三 吉 節 保 存 会
- ・奥 羽 住 宅 産 業 会 (株) 部 会
- ・空 手 忍 会 総 本 部
- ・神 社 協 力 会
- ・秋 田 信 用 金 庫 屋
- ・ね じ ま き 屋
- ・(学) 外 旭 川 学 園
- ・外 旭 川 わ ん わ ん こ ど も 園
- ・こ ぼ と 学 童 保 育 ク ラ ブ









# 春季 例大祭 のご案内

この一年の平穏を祈念する春季  
例大祭を左記の通り斎行いたしま  
す。

未だに新型コロナウイルス感染  
が続いている状況を踏まえ、正式  
な案内状はお出しいたしません。

左記の注意事項をご理解の上、  
ご参列下さいますよう、ご案内申  
し上げます。

## 記

**宵宮祭** 五月七日(土) 午後六時

**例大祭** 五月八日(日) 午前十二時

### (注意事項)

- ・ 感染対策にご協力願います。
- ・ 県外からもご参列頂けます。
- ・ 直会や斎館での参籠は行いません。
- ・ 胡床の間隔を空けてお座り頂き、  
玉串奉奠後、順次ご退出頂きます。

◎ ご参列の方は、四月末日までに  
係(和田)までご連絡下さい。

